



元気に歩いた春の遠足

ゴールデン・ウィークの合間の2日(火)に、春の遠足を実施しました。昨年は、雨で遠足が流れて園内遠足となり、子どもたちはとても残念がりましたが、今年は、絶好の天気恵まれ、子どもたちはルンルン気分です。年少さんは、保護者の方と一緒に目的地に向かいました。年中さんは、例年、年長さんに手を引かれて歩くところですが、昨年、親子で手を繋いで遠足を経験していないことから、年中さんも親子で手を繋いで遠足となりました。私は、年中さんの親子の中に入って歩きましたが、年中ともなると、弱音を吐く人は一人もいませんでした。予定通りの時刻に舞鶴公園に着くことができました。今年の年長さんは、友達同士で仲良く手を繋いで遠足でした。年中さんと少し間隔があいて目的地に着いたので心配しましたが、担任によると、年長さんも全員元気に歩き、予定通りに着いたということでした。

年長さんは、今月30日に油山登山が控えています。きっと、大丈夫でしょう。

昼食時間は、親子で仲良く食事です。子どもたちの弁当に目をやると、おにぎりやサンドウィッチなど、どの弁当も工夫が凝らされていました。子どもたちが喜んで食べたくるように工夫され子どもたちも小さな口をパクリと開けて頬張っていました。ご飯から先に食べて、後からおかずだけを食べる子、逆に、おかずから先に食べて後からご飯だけを食べる子など様々で、昔の三角食べをしている子は少ないようです。

自由時間になると、学級でゲームを楽しんだ後、広い公園内を、お父さんと鬼ごっこをして思い切り走り回る子どもたち、お母さんと一緒に白爪草を編んで王冠を作る子どもたち、滑り台や砂場で楽しむ子どもたち。それぞれ親子で楽しいひと時を過ごす姿を見ることができました。



新役員さんの活動開始

今年度の保護者会の新役員さんが、4月末の学級懇談会で決まり、先日8日(月)に第1回の役員定例会が開かれました。今年度の年長学年が2学級ということから、年長の2学級からは各4名の方を委員として選出していただきました。

会長のうめ組の長濱さん、副会長のうめ組の許斐さん、ゆり組の井関さんを中心に、保護者会役員の活動内容やクラス費の管理等についての説明が行われ、本格的に保護者会活動がスタートしました。

通常の夏祭りの企画、給食の支援、広報活動に加え、今年度は学園が創立110周年を迎え、記念行事が予定されています。今年度も、子どもたちの喜ぶ笑顔を見たいと思いますので、子どもたちのためにご支援をよろしくお願いいたします。

花まついを祝う

お釈迦様の誕生を祝う花まつりの法要を12日(金)に大学の宇野先生を導師にお迎えし実施することができました。子どもたちは、ゆり、ガーベラ、ヒマワリなどを手に登園してきました。手にした花は、子どもたちが、花屋さんで選んだとか。そして、職員の手を借りて見事な花御堂ができました。これもひとえに、保護者の皆様のご協力のお陰と、深く感謝申し上げます。



初めて花まつりの法要を経験する年少さんは、献花・献灯から灌仏まで珍しそう見つめ、少々、ざわついていました。しかし、宇野先生のスクリーンを使ったお釈迦様の話になると、それまでの話し声がぴたりと止まり、真剣に耳を傾けていました。これには驚きました。毎日の担任の読み聞かせの成果で

しょうか。これには、宇野先生も、「年度初めの法話の時は、年少さんにまだ聞く姿勢が育っていないために苦労したが、今日は静かに聞いてくれたので驚いた。これからこの手法を取り入れたい」と話しておられました。